

- サイバーセキュリティ対策促進助成金について
- ワクチン職域接種2回目(コラム)
- 今月の脆弱性

News Letter

2021.8
#04



サイバーセキュリティ対策促進助成金 9月より受付スタート

サイバーセキュリティ対策促進助成金の公募が9月に開始されます。

このサイバーセキュリティ対策促進助成金は
中小企業などが自社の企業秘密や個人情報等を保護するために、
サイバーセキュリティ対策を実施するための設備導入費用を東京都が補助するものです。

UTMやIDS/IPS、WAFなどセキュリティサービスの導入も助成対象になります。
「セキュリティサービスの導入をしたいけれど、予算がなかなか取れない…」という企業様は
一度こちらの助成金をチェックしてみてもはいかがでしょうか？



募集要項

1.管轄

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

2.助成対象事業者

- ・IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が実施しているSECURITY ACTIONの2段階目(★★二つ星)を宣言している
都内の中小企業者・中小企業団体※
- ・過去にこの助成金の交付を受けていない企業
- ・東京都内で申請時まで1年以上事業を継続している 等

※SECURITY ACTION…独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施している制度

★★二つ星を宣言するためには、「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で自社の状況を
把握したうえで、情報セキュリティ基本方針を定め、外部に公開する必要があります。

参考URL:<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/sa/index.html>



3. 助成対象事業

サイバーセキュリティ対策を実施するために必要となる下記の機器等の導入、およびクラウド利用に係る経費が助成対象となります。

- (1) 統合型アプライアンス(UTM等)
- (2) ネットワーク脅威対策製品(FW、VPN、不正侵入検知システム等)
- (3) コンテンツセキュリティ対策製品(ウイルス対策、スパム対策等)
- (4) アクセス管理製品(シングル・サイン・オン、本人認証等)
- (5) システムセキュリティ管理製品(アクセスログ管理等)
- (6) 暗号化製品(ファイルの暗号化等)
- (7) サーバー(最新のOS搭載かつセキュリティ対策が施されたものに限る)
- (8) 標的型メール訓練

上記導入の費用はすべて一括で支払う必要があります。

4. 助成上限・下限額

上限:1,500万円

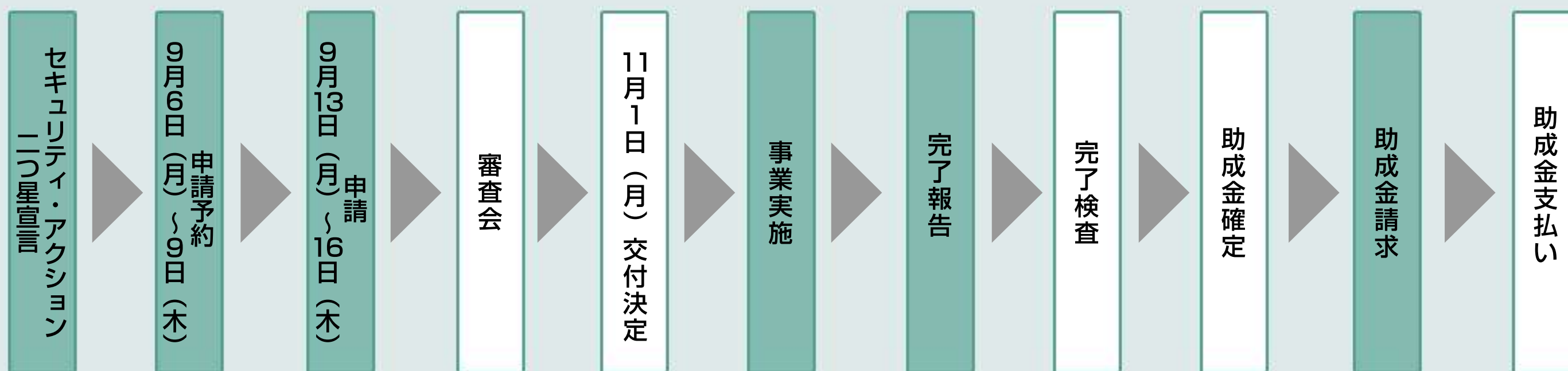
下限:30万円

※標的型メール訓練のみの申請の場合 上限50万円・下限10万円

5. 助成率

助成対象経費の1/2以内

6. スケジュール



※塗りつぶし箇所は、申請者自身が行う手続きとなります。

期	予約受付	受付時間	交付決定(予定)	助成対象期間	完了報告書提出期限
9月募集(予定)	令和3年 9月6日(月) ~9日(木)	令和3年 9月13日(月) ~16日(木)	令和3年 11月1日(月)	交付決定日 ~令和4年 2月28日(月)	令和4年 3月14日(月)

助成金予算の執行状況により、新規受付を早期終了する場合があります。交付決定日より4か月以内に対象経費の支払いを完了する必要があります。

サイバーセキュリティ対策を実施するための設備などを導入することにより、申請企業のセキュリティが向上すると審査会で判断された場合は、助成対象となります。

ちなみに…弊社で取り扱っているセキュリティサービスのなかで助成対象になる可能性があるセキュリティサービスを次のページでご紹介します。

ネットアシストのセキュリティサービス

WAF



IDS/IPS



ウイルス・スパイウェア対策ソフト



※上記はあくまで助成対象となる可能性があるセキュリティサービスです。現在の企業状況も判断基準となるため、特定のセキュリティサービスを導入することで必ず助成が受けられるという訳ではございません。

【詳細情報】

必要書類や申請要件について、詳しくは下記URLをご確認ください。

公式:<https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/setsubijosei/cyber.html>



新型コロナワクチン2回目の接種が完了！どうなった？

ワクチン不足のため、政府が職域接種の新規受付を一時停止するなど、若い人への接種がまだまだ浸透していない状況ではありますが、弊社が所属するソウテングループでは、おかげさまで職域接種が順調に進んでおります。

先月のレポートでは、弊社スタッフ数名が1回目の接種を完了いたしました。

今回は無事2回目の接種を終えることができましたので、接種～接種後のレポートをお送りいたします！

1回目の接種完了から1か月後。7月末の夕方頃、2回目の接種を受けに会場へ向かいます。

前回の注射はほぼ痛みはありませんでしたが、今回は痛い！前回接種した部位と同じ箇所への注射だったからか、非常に痛みがありました・・・。

2回目の副反応が強いというのは聞いていたので、近所のドラッグストアで、解熱剤とスポーツドリンクなどを購入し帰宅。準備万端です。

当日は、そのまま拍子抜けするほど何の症状もなく、そのまま床にはいりました。が・・・、次の日の朝から症状が出始めます。

全身のだるさと体の痛み、そして熱も徐々に上がっていききました。

昼過ぎには38度すぎまで上昇。リモートワークで仕事をしていましたが、

座って仕事ができないほど倦怠感が増していきます。結局その日の午後は、ベッドに寝たきりの状態でした。

(解熱剤とドリンクを買っていて良かった！)

接種した他のメンバーも次の日の倦怠感や発熱に苦しんでいたため、症状の大小はあれど、

2回目の副反応は覚悟しておいた方が良さそうです。その翌日は、前日の体調の悪さが嘘のように回復していました。

これからワクチン接種される皆様には、2回目の翌日は、休む・大事な商談を入れないなど、事前に仕事の調整を行いましょう！



今月の脆弱性

【対象期間:7月7日～8月10日】

※期間内に公式から発表された脆弱性の一部をご紹介します。

【Apache Tomcat】(ソフトウェア)

Apache Tomcat 10.0.0-M1から10.0.6まで
Apache Tomcat 9.0.0.M1から9.0.46まで
Apache Tomcat 8.5.0から8.5.66まで

攻撃者によって対象のシステムから機密情報を窃取されるなどの被害を受ける可能性

【FirefoxおよびThunderbird】(ブラウザ)

攻撃者によってアプリケーションのクラッシュやWebサイトに対する不正なアクセス許可の取得などが行われるおそれがある。

Firefox 90
Firefox ESR 78.12
Thunderbird 78.12



【Google Chrome】(ブラウザ)

攻撃者によって影響を受けたシステムの制御権が乗っ取られる危険性がある。

Google Chrome version 91.0.4472.164 よりも前のバージョン(Windows/Mac/Linux共通)

【Linuxカーネル】(OS)

制御不能な境界外書き込みを利用しroot権限を獲得することが可能

※この脆弱性を悪用するには、約5GBのメモリと1Mのinodeが必要

デフォルトインストールのUbuntu 20.04、Ubuntu 20.10、Ubuntu 21.04、Debian 11、Debian 10 Workstation

【Drupal】(CMS)

攻撃者によって影響を受けたシステムの制御権が乗っ取られる危険性がある。

Drupal 7系・8.9系・9.1系・9.2系

お問い合わせ

株式会社ネットアシスト

☎ 03-3985-6780

✉ sales@netassist.ne.jp

🌐 <https://www.netassist.ne.jp/>

